

2016 年度駒澤大学教職課程公開講演会

子どもが育つまちづくり

— 道遊びの再生とその意味 —

講師 嶋村仁志さん (一般社団法人 TOKYO PLAY 代表)

英国リーズ・メトロポリタン大学社会健康学部プレイワーク学科高等教育課程 (DipHE in Playwork) 修了。1996 年に羽根木プレーパークの常駐プレーリーダー職に就いて以来、プレイワーカーとして川崎市子ども夢パーク、プレーパークむさしののスタッフを歴任。NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会理事。訳書として『グランド・フォー・プレイ イギリス冒険遊び場事始め』鹿島出版会 2011、監修『男の子の乗り越える力を育てるワンパク体験』メディアファクトリーなどがある。

開催日時 2016年10月14日(金)14:40~16:10

開催場所 1号館203教場

参加費無料 事前申し込み不要

近年、子どもの声を「騒音」とみなしたり、保育所や幼稚園を新設しようとする地域から「迷惑施設」として反対運動が起こったり、近所の道端や空き地で遊ぶことを「迷惑行為」とみなすほど、次代を担う存在であるはずの子どもに対して不寛容な社会になってきています。

こうしたなか、子どもは安心してのびのびと育つことは出来るのでしょうか。都市化や大人中心の安全管理の発想が浸透し、子どもの居場所が縮小する一方で、かつてのような原っぱや路地裏、雑木林などで子どもたち自身で繰り広げてきた創造的な遊び空間の再生には、<子どもが育つまちづくり>という視点が欠かせません。

本講演会では、「道遊び」という、私たちの身近な暮らしなかでの遊び空間を再生させる取組みを通して、道遊びのもつ多様な意味や、まちが再びつながり、子どもが育つまちへと再生していく可能性についてお話いただきます。